

NEWS RELEASE

2016年2月8日

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社
Fitbit, Inc

健康増進に向けた共同ビジネス展開の開始について ～日本における健康増進への取組み～

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社（社長：高橋 薫、以下「損保ジャパン日本興亜ひまわり生命」）とFitbit, Inc（CEO：James Park、ニューヨーク証券取引所上場、以下「フィットビット社」）は、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命のお客さまを対象に、健康で活動的な生活を支援する取組みを共同で開始することに合意しましたのでお知らせいたします。

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は、本取組みの一つとして、フィットビット社製デバイスをお客さまへ貸与することを検討しています。日本において、SOMPO ホールディングスのグループ会社である損害保険ジャパン日本興亜株式会社は約2,000万人のお客さまを有し、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は約350万件のご契約をお預かりしています。

フィットビット社は、米国サンフランシスコを拠点とし、日常生活におけるさまざまな活動を計測するウェアラブル端末や健康関連のサービス提供を通じて、お客さまがより健康で活動的な生活を送ることができるようサポートすることを使命に掲げています。フィットビット社は、急速に成長している、健康とフィットネスを結び付ける市場におけるグローバルリーダーであり、55か国において3,000万台以上のデバイス販売実績を誇っています。

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は、SOMPO ホールディングスの中核生命保険会社として、「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献する」というグループの経営理念のもとで、生命保険の提供を超えて、人々の健康増進を支援する企業となることを目指しています。

このたび両社は、双方のビジョンを共有し、日本の人々の日々の健康とそのため活動の目標達成を支援することによって、国民の健康増進に資する取組みを共同で開始することに合意しました。

取組み内容は**別紙**をご参照ください。

今後、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は、安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供していくために、SOMPO ホールディングスが展開するさまざまな事業への活用も視野に検討していきます。

以上

別紙

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は、フィットビット社と共同のプロジェクトチームを立ち上げ、具体的に以下の取組みを検討していきます。

- 約 3,000 人の社員の健康増進を後押しするために、2016 年 4 月より、フィットビット・ウェルネス^{※1}を導入し、心拍数計測が可能なフィットビット社製ウェアラブル端末“Charge HR”^{※2}等を配布する取組み。
- 健康保険組合との連携のもと、社員の健康情報とフィットビット社製ウェアラブル端末を通じて収集できる活動データをもとに、疾病と活動データの因果関係を分析する取組み。
- お客さまの健康増進を後押しするため、一部の保険契約者さまにフィットビット社製ウェアラブル端末を貸与し、お客さまの同意のもと、革新的な保険商品の開発検討に資する活動データを収集する取組み。

※1 フィットビット・ウェルネス (www.fitbit.com/fitbit-wellness)

フィットビット社が 2010 年に開始した、ハードウェア、ソフトウェア、サービスを提供する企業向け健康増進プログラムです。あらゆる業種の機関と連携しており、全米におけるフォーチュン 500 社のうちの 70 社超の企業が採用しています。

※2 フィットビット社製ウェアラブル端末“Charge HR” (<https://www.fitbit.com/jp/chargehr>)

歩数、歩行距離、燃焼カロリー、運動時間、睡眠、上り階数、心拍数等を測定することができるワイヤレス・リストバンドです。